

令和7年度南部町内通学路対策実施予定箇所 一覧表

番号	路線名	箇所名・住所	通学路の状況・危険の内容	要望集落等	重点箇所	状況・方針
R3-5	国道 (180号線)	倭二区	国道180号沿いのローソンから新宮谷橋までの区間で歩道が必要(通行量も多く、極めて危険なため)。令和3年度の通学路点検においても歩道の必要性が指摘されている。	大国協議会		新宮谷橋から旧道入口までの区間に歩行者の安全を確保するための歩道を設置します。現在は新宮谷橋拡幅歩道部分の橋りょう(上部工)工事で年次法勝寺方面に向け進めています。全線開通は令和11年度目標です。
R5-1	県道 (米子岸本線)	天萬・諸木	諸木から天萬までの県道歩道部には照明施設がない。中学生の通学路にもなっており、夜間の通行が危険なため、特に県道と町道の交差点、横断歩道のある場所には照明施設を早急に設置してほしい。	諸木		県道と町道の交差点、横断歩道の道路照明について、建設課から県に設置していただくように要望をいたします。時期として、令和8年7月末に県へ要望事項として上申を行います。
R5-2	町道 (柏尾・坂根線) 町道 (河原田線)	柏尾	TMSから法勝寺川の土手までの通学路で「土手を下るときにブレーキをかけない」「四つ角をノーブレーキで曲がる」「車が来ても減速しない」等、中学生の自転車の危険運転が散見される。高齢者の利用頻度の高い道路であり、事故に繋がるのが想定される。	柏尾		土手を下った先の集落内道路に、令和6年度に注意喚起の看板を設置する予定でしたが、周辺の状況により設置が困難となりました。学校で安全指導を行いながら新たな注意喚起の方法を検討します。
R6-1	町道 (倭・小西線)	原	カーブで見通しが悪いうえ速度の速い車が多い。	西伯小		令和8年度に設計に着手する予定としております。
R6-2	町道 (旧県道清水川阿賀線)	阿賀	歩道がない。交通量が多く、通学時に危険。横断歩道が一部消えており、見えにくい。	西伯小		現在は経過確認を行いながら状況を見守っている段階で、具体的な対策までは至っていませんが、他路線との優先順位や予算の範囲を踏まえながら、優先的に取り組みます。
R7-1	町道 (市山馬平線)	朝金	道路両側の壁が高く暗くなると歩行者が見えづらい。以前、変質者が出たが逃げ場がない。	会見小	○	優先順位をつけ、電柱への照明設置を検討します。
R7-2	町道 (天万線)	天萬	信号のある交差点周辺に歩道がない。	会見小	○	現在は経過確認を行いながら状況を見守っている段階で、具体的な対策までは至っていませんが、他路線との優先順位や予算の範囲を踏まえながら、優先的に取り組みます。
R7-3	町道 (天万寺内線)	天萬	街灯が木に覆われて暗く下校時の防犯上危険である。	南部中		子育て支援課に確認したところ、誰が設置したかは分からず、さくら保育園の管理と思われるが、電灯が切れていても支障がなく、保護者からも苦情は無いため、園で修繕は行わないということです。防犯灯として設置する場合は、土地の所有者の了解や、電気代の支払いについて集落から了解を得る必要があるため、現在確認中です。
R7-4	国道 (180号線)	阿賀	交通量が多く速度も速いため横断が危険である。過去に横断待ちをしていた児童に気づいて急停車した車が追突した事故があった。	西伯小		横断旗を設置しました。 【対策完了】
R7-5	町道 (ニュータウン・境線)	境	東町に向かって走行する車の速度が速い。見通しも悪い。	西伯小	○	令和7年度は、状況確認や個別の注意喚起にとどまったところです。次年度以降は、より具体的な方策の検討・実施につなげていきたいと考えております。
R7-6	町道 (ニュータウン・境線)	境	バス通学で朝バス停に行くのに橋を渡るが、狭いうえに抜け道で利用する車がよく通る。橋の上で車とすれ違う際には子ども達は欄干に登ってよけている。スピードも出る。	ふれあいサポートなんぶ	○	個別の注意喚起を行いました。 【対策完了】
R7-7	町道 (赤谷線)	赤谷	工事車両が坂道をスピードを出して下ってくる。	ふれあいサポートなんぶ		工事関係者へ注意喚起を行いました。 【対策完了】
R7-8	国道 (180号線)	能竹2工区	現在は歩道がなく交通量も多いため、迂回路を通学路としている。歩道が設置されれば通学路として利用することも考えている。	能竹	○	令和8年度以降に事業化予定です。